

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 もみの木保育園太子堂
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒 154-0004
東京都世田谷区太子堂 1-12-18
 E-mail : taishido@mominoki.ed.jp
 Website : _____
 児童生徒数：男子 59 名 女子 67 名 合計 126 名
 児童・生徒の年齢 0 歳～ 6 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域交流)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

《植物、生き物》

☆ゴーヤのグリーンカーテン

目的自然のものを利用し、夏の日差しを遮り涼しく過ごす。種から植物を育てる経験をする。

☆野菜

目的野菜を自ら手をかけ育て、収穫して食べる喜びを味わう。

屋上の小さな畑で夏野菜の栽培を行う。

《地域との交流》

目的小学校との連携、就学前プログラムを行う。

身近に住んでいる人と交流し共感し合う体験を通して、人と関わる事の楽しさや大切さを味わう。

☆小学校

☆花の日

園の行事で花の日礼拝があり、アレンジメントにしたものを地域の方(消防署、交番、デイホーム、小学校、嘱託医、町会長)に届けに行き、日頃の感謝の気持ちを伝えた。

☆感謝祭

園の行事で感謝祭礼拝があり、持ち寄った野菜や果物で幼児クラスがカップケーキを作り、日頃お世話になっている地域の方(消防署、デイホーム、嘱託医、小学校、町会長、広域避難所の大学)へ年長児が届けに行き、感謝の気持ちを伝えた。



☆デイホーム

デイホームの方を保育園にお招きし、年長児がクリスマス祝会で行う降誕劇『いちばんはじめのクリスマス』を披露し、クリスマスプレゼントとして製作したリースなどを渡した。

地域の方との触れ合い、プレゼントのお届けなどを通し、その人が普段どんな仕事をしているのか、みんなとどんな関わりがあるのか考えるきっかけとなった。

《世界を知ろう》

目的世界には色入りな国がある事を知り、興味を持つ。

☆ワールドビジョンによる講習

☆命の木プロジェクト



自分たちと同じくらいの年齢の子が世界では食べるものがなく病気になってしまうという事を大型紙芝居を通して知った。

自分たちにできることをみんなで考え、感じたことや伝えたいメッセージを描いて貼り、命の木を作った。



「ケーキわけてあげるね」

「おみずあげるね」

「こんどいっしょにあそぼうね」

など、子どもならではのメッセージが並び、様々な国の人が手を繋ぐ絵や果物の絵が書かれていた。

今みんなができることとして出たことが

「ご飯を残さず食べること。」

と決め、残食が減るようになった。



☆プレゼント

「クリスマスプレゼントにみんなは何もらう？」

という問いかけから始まり、おもちゃの名前を口々に答える子供たち。

「世界ではね、こんなプレゼントをもらったお友達がいたんだよ」

とワールドビジョンの方々がお話を始めてくれました。

パズルを組み合わせ写真を作り、その写真を元に話を聞いていきます。

畑をプレゼントし、キャベツが作れる環境を整えたり、栄養が足りない国に牛のプレゼントをし牛乳が飲めるようにしたりという話を聞き「ずっとずっと使えるプレゼントもあるんだね」と子どもなりに考えているようだった。



プレゼントをもらうと、もらった人も嬉しくなり、あげた人も嬉しい気持ちになるという様子を、地球儀にハートを貼っていき、地球いっぱいハートになる様子を見て、「みんなが嬉しい気持ちになったらハートがいっぱいになって幸せだね」と言っていた。



(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()